

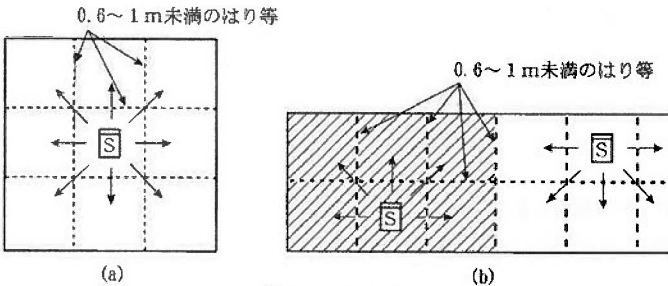
2-1 火災区域又は火災区画の火災感知器の設置個数について

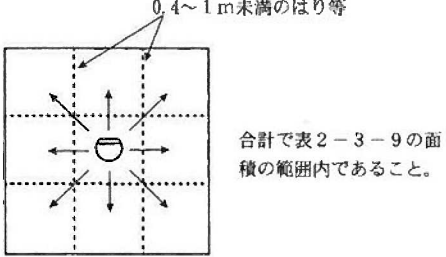
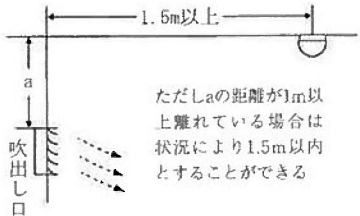
火災感知器の選定においては、設置場所に対応する適切な火災感知器の種類を火災防護に関する説明書4.2(1)b.項に示す通り、消防法に準じて選定する設計とする。火災感知器の取付方法や設置個数については、消防法施行規則第23条第4項に基づき設置する設計とする。

また、火災感知器の種類や設置に関する技術的な部分については、消防設備士の確認を受け、消防法施行規則に則り設置する設計とする。

上記を踏まえた火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例について、表2-1-1に示す。

なお火災感知器の配置設計にあたり、消防法施行規則第23条第4項に基づき設置するものは「消防法適合確認」欄に○を付与するものとし、その他の設計に基づき設計を行ったものは、「消防法適合確認」欄に以下の凡例を記載するものとする。

凡例	凡例理由																												
A : 煙感知器	<p>はり等の深さが0.6m以上1m未満で、図2-3-108(a)、(b)のように小区画が連続している場合は、表2-3-15に示す面積の範囲内ごとに同一感知区域とすることができる。ただし、表に示す面積の範囲内で、かつ、感知器を設置した区画に他の区画が接していること。</p> <p>また、0.6m以上1m未満のはり等によって区画された10m²以下の小区画が1つ隣接してある場合は、当該小区画を含めて同一感知区域とすることができる。この場合の感知器は小区画に近接するように設けること。なお、小区画を含めた合計面積は、感知器の種別によって定められている感知面積の範囲内であること。</p> <div style="text-align: center;">  <p>図2-3-108</p> </div> <p>表2-3-15</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">感知器種別</th> <th rowspan="2">取付け面の高さ</th> <th colspan="4">感知面積の合計 (m²)</th> </tr> <tr> <th>4m未満</th> <th>4m以上 8m未満</th> <th>8m以上 15m未満</th> <th>15m以上 20m未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1種</td> <td></td> <td>60</td> <td>60</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>2種</td> <td></td> <td>60</td> <td>60</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3種</td> <td></td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>引用元：日本火災報知器工業会 自動火災報知設備工事基準書</p>	感知器種別	取付け面の高さ	感知面積の合計 (m ²)				4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満	1種		60	60	40	40	2種		60	60	40		3種		20			
感知器種別	取付け面の高さ			感知面積の合計 (m ²)																									
		4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満																								
1種		60	60	40	40																								
2種		60	60	40																									
3種		20																											

<p>B : 熱感知器</p>	<p>はり等の深さが 0.4m 以上 1m 未満で小区画が連続している場合は、表 2-3-9 に示す面積の範囲内ごとに同一の感知区域とすることができる。この場合、図 2-3-32 のように、各小区画は感知器を設置した区画に隣接していなければならない。</p> <p>また、0.4m 以上 1m 未満のはり等によって区画された 5m² 以下の小区画が 1 つ隣接している場合は、当該小区画を含めて同一感知区域とすることができる。この場合、感知器は小区画に近接するように設けること。なお、小区画を加えた合計面積は、感知器の種別によって定められている感知面積の範囲内であること。</p> <p>表 2-3-9</p> <table border="1" data-bbox="368 667 852 945"> <thead> <tr> <th rowspan="2">感知器種別</th> <th colspan="2">感知区域</th> <th colspan="2">合計面積</th> </tr> <tr> <th>構造</th> <th>耐火</th> <th>火</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">差動式スポット型</td> <td>1 種</td> <td></td> <td>20m²</td> <td>15m²</td> </tr> <tr> <td>2 種</td> <td></td> <td>15m²</td> <td>10m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補償式スポット型</td> <td>1 種</td> <td></td> <td>20m²</td> <td>15m²</td> </tr> <tr> <td>2 種</td> <td></td> <td>15m²</td> <td>10m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">定温式スポット型</td> <td>特 種</td> <td></td> <td>15m²</td> <td>10m²</td> </tr> <tr> <td>1 種</td> <td></td> <td>13m²</td> <td>8m²</td> </tr> <tr> <td>熱アナログ式スポット型</td> <td></td> <td></td> <td>15m²</td> <td>10m²</td> </tr> </tbody> </table>  <p>引用元：日本火災報知器工業会 自動火災報知設備工事基準書</p>	感知器種別	感知区域		合計面積		構造	耐火	火	その他	差動式スポット型	1 種		20m ²	15m ²	2 種		15m ²	10m ²	補償式スポット型	1 種		20m ²	15m ²	2 種		15m ²	10m ²	定温式スポット型	特 種		15m ²	10m ²	1 種		13m ²	8m ²	熱アナログ式スポット型			15m ²	10m ²
感知器種別	感知区域		合計面積																																							
	構造	耐火	火	その他																																						
差動式スポット型	1 種		20m ²	15m ²																																						
	2 種		15m ²	10m ²																																						
補償式スポット型	1 種		20m ²	15m ²																																						
	2 種		15m ²	10m ²																																						
定温式スポット型	特 種		15m ²	10m ²																																						
	1 種		13m ²	8m ²																																						
熱アナログ式スポット型			15m ²	10m ²																																						
<p>C : 煙感知器</p>	<p>感知器配置を明確にするため、感知器サイズを大きく記載していることから干渉しているが、現場は「壁面」「0.6m 以上の梁」からは 0.6m 以上の離隔が確保されている。また、吹き出し口から 1.5m 以上の離隔が確保されている。</p>																																									
<p>D : 熱感知器</p>	<p>感知器配置を明確にするため、感知器サイズを大きく記載していることから干渉しているが、吹き出し口から 1.5m 以上の離隔が確保されている。</p>																																									
<p>E : 熱感知器</p>	<p>吹き出し口から感知器の鉛直方向距離（下図 a）は 1m 以上確保されており、1.5m 以内でも問題ない。</p>  <p>引用元：日本火災報知器工業会 自動火災報知設備工事基準書</p>																																									
<p>F</p>	<p>欠番</p>																																									
<p>G : 煙、熱感知器</p>	<p>取付面高さが 8m 未満のグレーチング天井の場合、感知区画の面積に応じた個数を設置し、その取付面はグレーチングを天井とみなし設計する。（消防受容性確認済の設計：梁部分などに政令で定める技術上の基準に従って設置すれば、階層ごとに警戒する設計（グレーチングを床とする設計）は地元消防に受容されている。）</p>																																									

H : 煙、 熱、 炎感 知器	<ul style="list-style-type: none"> ・主要構造物を耐火構造とした天井裏の部分については感知器を設置しない。(参考1) (消防法施行令 第21条第2項三) ・シャワー室には感知器を設置しない。 (昭和44年7月7日 消防予第190号)
I : 煙、 熱、 炎感 知器	<p>当該エリアは、高放射線エリアであり、かつ、通常立ち入りできないため、感知器を設置しない。 (参考2) (参考3) (消防法施行規則 第23条第4項一)</p>

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (2/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数														備考		
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認	
	分析室及び出入管理室	23	共用		2.4	75.2	1	0	0	1	○	2	2	0	2	D	0	0	0	0	—		
		24	共用		2.3	15	2	0	0	2	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—		
		25	共用		2.4	8.1	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	—	シャワー室のため設置しない	
		26	共用		2.4	195.4	2	0	0	2	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—		
		27																				欠番	
		28																					欠番
		29	共用		2.4	21	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		30	共用		2.4	11.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		31	共用		2.4	42.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		32	共用		2.4	13.6	1	0	0	1	C	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—		
		33	共用		2.4	3.8	1	0	0	1	C	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—		
		34	共用		2.4	8.8	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
		35	共用		2.4	160.6	3	0	0	3	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	—		
		36																				欠番	
		37	共用		2.4	3.9	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
	38	共用		2.4	4.9	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—			
	海水管室 (3,4 号機)	1-1	3		1.7	192.5	2	0	0	2	G	3	1	0	2	G	0	0	0	0	—	グレーチング下	
		1-2	3		6.6	192.5	3	4	0	0	○	9	2	0	7	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
	海水管室 (3,4 号機)	1	共用		2.4	124.8	1	2	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—		
		2	共用		2.3	127.9	1	2	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		3	共用		2.3	116.8	1	2	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	—		
		4	共用		3.2	98.8	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	グレーチング	
		5	共用		8.7	6.2	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	7m に熱感知器 1 台設置	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (3/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数														備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]		消防法 適合 確認
	原子炉補機冷却水ポン プ室-2 (4号機)	1	4		7.8	228.9	5	2	3	0	A	8	2	0	6	○	0	0	0	0	-	グレーチング
		2	4		7.8	129.3	4	2	0	2	A	6	1	0	5	○	0	0	0	0	-	グレーチング、一部低天井考慮
		3-1	4		1.7	26.7	1	0	0	1	G	1	0	0	1	G	0	0	0	0	-	グレーチング下
		3-2	4		6.6	26.7	1	0	1	0	A	2	1	0	1	B	0	0	0	0	-	グレーチング
		4	4		8.3	10.4	0	0	0	0	A	0	0	0	0	-	2	0	0	2	○	
		5	4		5.3	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	感知区画 1 に含む
	原子炉補機冷却水ポン プ室-2 (3号機)	1	3		7.8	228.9	5	2	3	0	A	8	2	0	6	○	0	0	0	0	-	グレーチング
		2	3		7.8	128.6	4	2	0	2	A	6	2	0	4	○	0	0	0	0	-	グレーチング、一部低天井考慮
		3-1	3		1.7	26.7	1	0	0	1	G	1	0	0	1	G	0	0	0	0	-	グレーチング下
		3-2	3		6.6	26.7	1	0	1	0	A	2	1	0	1	B	0	0	0	0	-	グレーチング
		4	3		8.3	10.4	0	0	0	0	A	0	0	0	0	-	2	0	0	2	○	
		5	3		5.3	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	感知区画 1 に含む
	空調用冷凍機室 (4号機)	1	4		4.7	212.1	3	3	0	0	○	7	7	0	0	○	0	0	0	0	-	
	空調用冷凍機室 (3号機)	1	3		4.7	213.1	3	3	0	0	○	7	7	0	0	○	0	0	0	0	-	
	通路	1	共用		2.3	94.5	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	-	
		2	共用		2.2	9.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
		3	共用		5.3	58.7	1	0	0	1	C	3	2	0	1	○	0	0	0	0	-	
		4	共用		2.3	70.2	5	2	0	3	A	6	2	0	4	B	0	0	0	0	-	
		5	共用		5.2	60	1	0	0	1	C	3	1	0	2	○	0	0	0	0	-	
	B 安全補機開閉器室 (4号機)	1	4		5.0	149.1	2	2	0	0	○	5	1	2	2	○	0	0	0	0	-	
		2	4		5.0	133.6	2	2	0	0	○	5	3	1	1	○	0	0	0	0	-	
		3	4		5.0	252.2	4	4	0	0	○	10	2	5	3	D	0	0	0	0	-	
		4	4		5.0	17.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	-	
	B 蓄電池室 (4号機)	1	4		2.5	29.6	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	-	
	A 蓄電池室 (4号機)	1	4		2.5	32.3	1	1	0	0	○	1	0	1	0	○	0	0	0	0	-	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (4/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数															備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	
	A 安全補機開閉器室 (4号機)	1	4		5.0	119.8	2	2	0	0	C	5	1	3	1	○	0	0	0	0	0	—
		2	4		5.0	353.8	5	5	0	0	C	21	6	5	10	D	0	0	0	0	0	—
	コントロールセンタ室 及びN蓄電池室 (4号機)	1	4		5.0	247.6	4	3	0	1	C	12	12	0	0	E	0	0	0	0	0	—
		2	4		2.5	57.4	1	2	0	0	C	1	0	1	0	○	0	0	0	0	0	—
	B 安全補機開閉器室 (3号機)	1	3		5.0	133.6	2	2	0	0	○	5	2	2	1	D	0	0	0	0	0	—
		2	3		5.0	149.1	2	2	0	0	○	5	0	3	2	○	0	0	0	0	0	—
		3	3		5.0	254.0	4	4	0	0	○	10	2	7	1	○	0	0	0	0	0	—
		4	3		5.0	17.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—
	B蓄電池室 (3号機)	1	3		2.5	29.6	1	1	0	0	○	1	0	1	0	○	0	0	0	0	0	—
	A蓄電池室 (3号機)	1	3		2.5	32.3	1	1	0	0	○	1	0	1	0	○	0	0	0	0	0	—
	A安全補機開閉器室 (3号機)	1	3		5.0	349.3	5	5	0	0	○	21	4	8	9	D	0	0	0	0	0	—
		2	3		5.0	123.8	2	2	0	0	C	4	0	4	0	B	0	0	0	0	0	—
	コントロールセンタ室 及びN蓄電池室 (3号機)	1	3		5.0	338.3	5	3	2	0	C	16	16	0	0	D,E	0	0	0	0	0	—
		2	3		2.5	57.3	1	2	0	0	○	1	0	1	0	○	0	0	0	0	0	—
	N1次系継電器室及び 通路 (4号機)	1	4		2.6	60.3	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—
		2	4		2.6	60.4	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—
		3	4		2.5	12.8	1	0	0	1	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	0	—
		4	4		2.5	48.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—
		5																				欠番
		6	4		2.6	215.9	2	2	0	0	○	4	0	0	4	○	0	0	0	0	0	—
	B1次系継電器室及び 通路 (4号機)	1	4		2.6	125	1	2	0	0	C	2	0	2	0	D	0	0	0	0	0	—
	A1次系継電器室及び 通路 (4号機)	1	4		2.6	97.9	1	2	0	0	○	2	0	2	0	○	0	0	0	0	0	—
	計算機室 (4号機)	1	4		2.6	123.8	1	2	0	0	○	2	3	0	0	D	0	0	0	0	0	—
		2	4		4.3	17.3	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (5/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数															備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	
	1次系補機操作室・運 転員控室・資料室	1	共用		2.6	32.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—	
		2	共用		2.6	46	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		3	共用		2.6	96.8	1	2	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
	中央制御室	1-1	共用		2.6	14.8	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		1-2	共用		2.6	2.8	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		1-3	共用		2.6	8.2	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		1-4	共用		2.6	6.7	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2-1	共用		3.9	120	1	3	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		2-2	共用		3.2	84	2	2	0	0	C	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	
		2-3	共用		3.3	380	3	9	0	0	C	6	2	0	4	D	0	0	0	0	—	
		3	共用		2.6	29.4	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		4	共用		2.6	19	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		5	共用		2.6	22.5	1	1	0	0	○	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—	
	6	共用		2.4	8.1	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
	7	共用		2.6	15.5	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—		
	8	共用		2.4	11.5	1	0	0	1	C	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—		
	9	共用		2.6	39.1	1	0	0	1	○	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—		
	10	共用		2.6	49.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	D	0	0	0	0	—		
	2次系補機操作室	1	共用		2.6	85.3	1	2	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
	N 1次系継電器室及び 通路 (3号機)	1	3		2.6	215.8	2	2	0	0	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	—	
		2	3		2.6	35.5	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		3	3		2.6	51.2	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		4	3		2.6	39.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
	B 1次系継電器室 (3号機)	1	3		2.6	93.8	1	2	0	0	C	2	0	2	0	○	0	0	0	0	—	
	A 1次系継電器室 (3号機)	1	3		2.6	89	1	2	0	0	○	2	0	2	0	○	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (6/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数															備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	
	計算機室 (3号機)	1	3		2.6	83.6	1	2	0	0	C	2	0	2	0	D	0	0	0	0	—	
		2	3		2.6	134.3	1	2	0	0	○	2	3	0	0	○	0	0	0	0	—	
		3	3		4.3	22.6	1	1	0	0	○	3	0	0	3	B	0	0	0	0	—	
	空調ダクトエリア	1	共用		2.6	12.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2-1	共用		7.8	833.2	20	7	6	7	A	34	2	0	32	D	0	0	0	0	—	
		2-2	共用		2.9	34.8	1	0	1	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2-3	共用		2.9	12.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		3	共用		3.6	34.2	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	—	中央制御室横通路天井裏のため
		4	共用		4.6	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画 2-1 に含む
		5	共用		5.0	350.8	6	2	1	3	○	11	1	0	10	○	0	0	0	0	—	26.1m の中間床
	空調ダクトエリア-2	1	共用		2.6	12.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2-1	共用		7.8	598.1	15	3	9	3	A,C	23	0	0	23	B	0	0	0	0	—	
		2-2	共用		2.9	17	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		3	共用		3.6	60.5	0	0	0	0	H	0	0	0	0	H	0	0	0	0	—	中央制御室横通路天井裏のため
		4	共用		7.8	12.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		5	共用		7.8	45.5	1	1	0	0	A	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		6	共用		7.3	70.6	2	0	0	2	A	5	0	0	5	○	0	0	0	0	—	
		7	共用		4.6	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画 2-1 に含む
	8	共用		5.0	350.9	6	2	2	2	○	11	1	0	10	○	0	0	0	0	—	26.1m の中間床	
	中央制御室非常用循環 フィルタユニット室 (3号機)	1	3		2.9	32.3	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
	中央制御室非常用循環 フィルタユニット室 (4号機)	1	4		2.9	32.3	1	1	0	0	○	1	1	0	0	D	0	0	0	0	—	
	コールド電気室・出入 管理室温水タンク室	1	共用		2.7	61	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2	共用		2.7	23	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		3	共用		7.3	83.2	2	1	0	1	A	5	1	0	4	○	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (9/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数															備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	
	濃縮廃液貯蔵タンク室 及び固体廃棄物処理エ リア	1	共用		9.8	75.3	2	2	0	0	○	0	2	0	0	—	2	0	0	2	○	
		2	共用		6.8	92.2	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
		3	共用		6.9	8.2	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		4	共用		6.8	26.2	2	0	0	2	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		5	共用		6.2	131.4	2	1	0	1	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	—	
		6	共用		6.2	26.3	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		7	共用		6.8	44.5	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		8	共用		6.8	43.7	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		9	共用		6.5	110.8	2	2	0	0	○	4	2	0	2	○	0	0	0	0	—	
	冷却材貯蔵タンク室	1	共用		15.0	75.3	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	8	0	0	8	○	グレーチング
		2	共用		15.0	75.3	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	8	0	0	8	○	グレーチング
		3	共用		15.0	79.5	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	8	0	0	8	○	グレーチング
		4	共用		6.8	9.6	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		5	共用		6.9	110.2	3	1	0	2	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	—	一部低天井考慮
		6	共用		7.9	118.6	2	1	0	1	○	4	1	0	3	○	0	0	0	0	—	
		7	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画 3 に含む
	固体廃棄物処理エリア	1	共用		7.8	103	2	1	0	1	○	3	2	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2	共用		7.8	11.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		3	共用		7.9	56.3	2	1	0	1	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	一部低天井考慮
		4	共用		7.9	33.2	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		5	共用		7.9	23.8	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	—	
		6	共用		7.9	35.8	1	1	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	—	
		7	共用		7.3	25.3	2	1	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	一部低天井考慮
		8	共用		7.9	18.1	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		9	共用		7.9	30.8	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		10	共用		7.9	35.5	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		11	共用		7.8	80.7	4	0	0	4	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—	低天井考慮
		12	共用		7.3	30	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (11/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数															備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	
		25	共用		6.5	5.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		26	共用		2.7	4.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		27	共用		2.7	4.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		28	共用		2.7	4.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		29	共用		2.7	4.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		30	共用		2.7	17.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		31	共用		6.6	45.4	2	0	0	2	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		32	共用		7.0	237.2	5	3	0	2	○	9	2	0	7	○	0	0	0	0	—	
		33	共用		6.9	2.9	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		34	共用		6.9	2.1	1	0	0	1	C	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
		35	共用		6.9	4.7	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		36																			欠番	
		37																			欠番	
	気体廃棄物処理エリア	38	共用		3.2	7.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		39	共用		3.2	7.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		40	共用		3.2	7.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		41	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画 10 に含む
		42	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画 14 に含む
		43	共用		3.3	13	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		44	共用		3.0	8.9	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		45	共用		3.0	3.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		46	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画 14 に含む
		47	共用		3.1	15.3	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		48	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	感知区画 22 に含む
		49	共用		3.2	9	1	1	0	0	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		50	共用		3.3	81	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (13/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数															備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	ガスサージタンク室及 び通路	14	共用		3.1	13.5	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—	
		15	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	—	感知区画 9 に含む
		16	共用		—	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	—	感知区画 W/B5-1-10 に含む
	試料採取室排気 フィルタユニット室	1	共用		7.0	62.6	1	0	0	1	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	0	—	
	補助建屋給気ユニット 室	1	共用		13.0	135.5	3	2	0	3	○	0	2	0	0	—	3	0	0	0	3	○	
		2	共用		13.0	173.3	6	1	0	5	○	0	1	0	0	—	4	0	0	0	4	○	
		3-1	共用		8.0	25.2	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—	
		3-2	共用		8.7	39.2	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	2	0	0	0	2	○	
		3-3	共用		5.6	7.2	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—	
		4	共用		8.6	137.1	6	1	0	5	A	0	0	0	0	—	6	0	0	0	6	○	
		5																					欠番
		6	共用		2.2	8.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—	
		7	共用		2.2	8.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—	
		8	共用		8.6	190.2	6	1	0	5	A	0	0	0	0	—	10	0	0	0	10	○	
		9																					欠番
		10	共用		2.2	8.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—	
		11	共用		2.2	8.4	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—	
	12																					欠番	
	13	共用		3.3	31.8	1	1	0	0	○	1	2	0	0	○	0	0	0	0	0	—		
	B 階段	1	3		—	—	4	2	0	2	○	7	0	0	7	○	0	0	0	0	—		
	A 階段	1	4		—	—	3	2	0	1	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (14/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数															備考	
							煙感知器					熱感知器					炎感知器						
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認		
	原子炉格納容器	1																			欠番		
		2	3		8.0	81.4	0	0	0	0	I	0	0	0	0	I	0	0	0	0	0	—	高放射線エリアで立入不可のため
		3																				欠番	
		4																				欠番	
		5-1	3																			後報	
		5-2	3																			後報	
		6	3																			後報	
		—	3																			後報	
		7	3																			後報	
		—	3																			後報	
		8	3																			後報	
		—	3																			後報	
		—	3																			後報	
	海水管室		1	3	2.3	301.5	3	3	0	0	○	5	2	0	3	○	0	0	0	0	0	—	
	海水管室		1	3	2.4	300.2	3	3	0	0	○	5	2	0	3	○	0	0	0	0	0	—	
	Bディーゼル発電機室	1	3	6.5	69	3	2	0	1	○	3	2	0	1	○	0	0	0	0	0	—		
		2	3	7.2	13	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—	グレーチング	
		3	3	5.9	18.7	2	2	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	0	—	一部低天井考慮	
		4	3	7.0	201.2	4	4	0	0	○	6	3	0	3	○	0	0	0	0	0	—		
		5	3	3.8	59.6	1	1	0	0	○	2	2	0	0	○	0	0	0	0	0	—		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (16/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数															備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	
	湧水排水ポンプ室	1	3		5.5	30.9	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—
	B安全系冷却器室	1	3		5.9	61.4	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	0	—
		2	3		5.9	19.2	1	0	0	1	C	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—
		3	3		6.0	76.1	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	0	—
		4	3		7.0	70.1	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	0	—
		5	3		7.0	162.1	4	2	0	2	○	6	1	0	5	○	0	0	0	0	0	—
	A安全系冷却器室	1	3		5.9	19.2	1	0	0	1	○	1	1	0	0	D	0	0	0	0	0	—
		2	3		5.9	61.4	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	0	—
		3	3		6.1	164.7	4	2	0	2	○	6	2	0	4	D	0	0	0	0	0	—
		4	3		6.0	68.4	2	1	0	1	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	0	—
		5	3		6.0	76.1	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	0	—
	B 電動補助給水ポンプ 室	1	3		5.9	59.6	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	0	—
	A 電動補助給水ポンプ 室	1	3		5.9	49.5	2	2	0	0	C	3	1	0	2	○	0	0	0	0	0	— 一部階段上部に設置
	通路	1	3		7.5	573	10	5	5	0	○	19	6	0	13	○	0	0	0	0	0	—
		2	3		5.9	44.2	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	0	—
		3	3		5.9	76.2	2	0	2	0	○	3	1	0	2	E	0	0	0	0	0	—
		4	3		5.9	94.5	2	1	1	0	○	3	2	0	1	D	0	0	0	0	0	—
		5	3		4.3	24.8	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—
		6	3		4.3	24.8	1	1	0	0	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	0	—
		7	3		5.9	34.4	1	1	0	0	○	1	1	0	0	○	0	0	0	0	0	—
		8																				欠番
		9-1	3		2.3	80.6	2	2	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	0	—
	9-2	3		3.6	80.6	1	1	0	0	○	5	0	0	5	○	0	0	0	0	0	—	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

第 2-1-1 表 火災区域又は火災区画における火災感知器の設置個数例 (17/17)

火災区域 (区画) 番号	火災区域 (区画) 名称	感知 区画	号機	フロア レベル [m]	天井 高さ [m]	床面積 [m ²]	感知器台数															備考
							煙感知器					熱感知器					炎感知器					
							必要 数 [個]	既設 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	必要 数 [個]	既存 感知器 数 [個]	消火 設備用 感知器 流用数 [個]	追設 数 [個]	消防法 適合 確認	
	A 充てんポンプ室	1	3		7.5	69.6	1	1	0	0	○	2	0	0	2	○	0	0	0	0	—	
	B 充てんポンプ室	1	3		7.5	69.6	2	1	0	1	C	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
	テンドンギャラリ及びコー ルド保守室	1	3		3.3	391.5	3	0	0	3	○	6	0	0	6	○	0	0	0	0	—	
		2-1	3		3.3	15.0	1	0	0	1	○	1	0	0	1	○	0	0	0	0	—	
		2-2	3		5.9	130.9	4	1	0	3	A	9	1	0	8	B	0	0	0	0	—	
		3-1	3		2.8	142	1	2	0	0	○	3	0	0	3	○	0	0	0	0	—	
		3-2	3		3.0	142	4	1	0	3	A	11	1	0	10	B	0	0	0	0	—	
	ほう酸ポンプ・ほう酸タン ク室	1-1	3		7.8	112.3	2	0	0	2	○	6	0	0	6	E	0	0	0	0	—	
		1-2	3																		後報	
		2	3		5.8	52.1	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
		3	3																		後報	
	C 充てんポンプ室	1	3		5.9	45.5	1	1	0	0	○	2	1	0	1	○	0	0	0	0	—	
	B 使用済燃料ピットポ ンプ室	1	3		5.9	105	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
	A 使用済燃料ピットポ ンプ室	1	3		7.5	80.4	2	1	0	1	○	3	1	0	2	○	0	0	0	0	—	
	海水ポンプエリア	—	共用		—	—	0	0	0	0	—	0	6	0	0	—	0	12	0	0	— 屋外エリア	
	3号 A・DG 燃料油貯蔵 タンク	1	3		—	—	0	0	0	0	—	0	2	0	0	—	0	1	0	0	— 屋外エリア	
	3号 B・DG 燃料油貯蔵 タンク	1	3		—	—	0	0	0	0	—	0	2	0	0	—	0	1	0	0	— 屋外エリア	
	空冷式非常用発電装置 エリア	—	共用		—	—	0	0	0	0	—	0	1	0	0	—	0	1	0	0	— 屋外エリア	
		—	共用		—	—	0	0	0	0	—	0	1	0	0	—	0	1	0	0	— 屋外エリア	
		—	共用		—	—	0	0	0	0	—	0	1	0	0	—	0	1	0	0	— 屋外エリア	
		—	共用		—	—	0	0	0	0	—	0	1	0	0	—	0	1	0	0	— 屋外エリア	

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

空調ダクトエリア []、[] 感知区画③の現場状況について

[] 空調ダクトエリアの感知区画③」および「[] 空調ダクトエリア-2の感知区画③」については、凡例H「主要構造物を耐火構造とした天井裏の部分については感知器を設置しない。（消防法施行令 第21条第2項三）」に基づき感知器を設置しないとしている。当該エリアは中央制御室横通路の天井裏であり、現場状況について以下に示す。

当該エリアの配置断面を図1に、また、当該エリアの平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図2に示す。

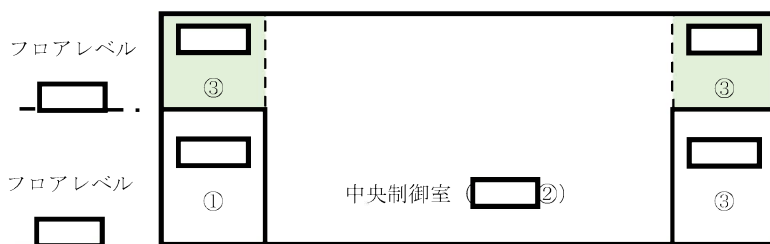


図1 配置断面

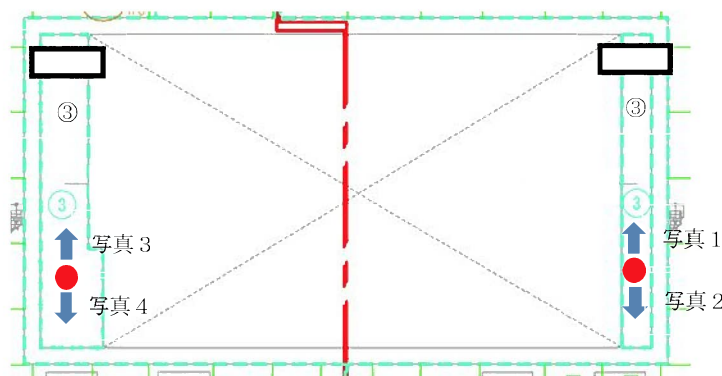


図2 平面図

1. [] 空調ダクトエリアの感知区画③

中央制御室横通路の天井裏で主要構造物は耐火構造である金属躯体、コンクリートである。



写真1



写真2

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

2. 空調ダクトエリア-2 の感知区画③

中央制御室横通路の天井裏で主要構造物は耐火構造である金属躯体、コンクリートである。



写真3



写真4

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

廃液貯蔵タンク室 () の感知区画①、②の現場状況について

「 」廃液貯蔵タンク室の感知区画①」および「 」廃液貯蔵タンク室の感知区画②」については、凡例 I 「当該エリアは、高放射線エリアであり、かつ、通常立ち入りできないため、感知器を設置しない。」としている。当該エリアの現場状況について以下に示す。

当該エリアの配置断面を図 1 に、また、当該エリア及び当該エリア上部階の平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図 2 に示す。

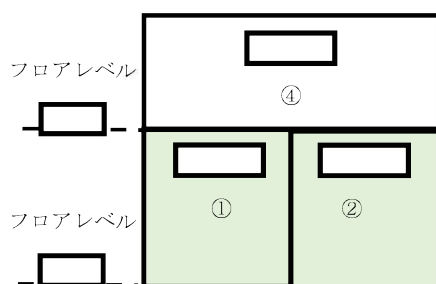


図 1 配置断面

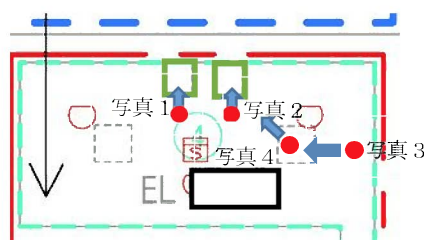


図 2 () ④平面図

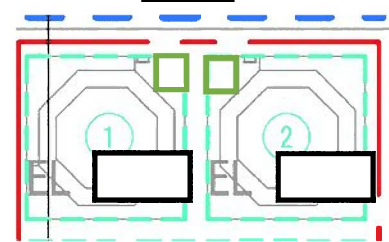


図 3 () ①、() ②平面図

<凡例>

- : 写真撮影場所
- ↑ : 写真撮影方向
- : アクセスルート
(コンクリート蓋部)

3. () の感知区画①、②のアクセスルートについて

() の感知区画①、②のアクセスルートは、上部階の () の感知区画④のコンクリート蓋部から下に降りるが、現状当該コンクリート蓋上部に、ドラム缶輸送用レールがあり、当該部屋への立入は困難な状況となっている。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



写真1



写真2



写真3



写真4

4. の感知区画①、②内の機器について
 の感知区画①、②には、使用済樹脂貯蔵タンクが設置されており、金属製のタンク内に使用済樹脂が保管されている。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

炉内計装配管室 () の感知区画②の現場状況について

() 炉内計装配管室の感知区画②」については、凡例 I 「当該エリアは、高放射線エリアであり、かつ、通常立ち入りできないため、感知器を設置しない。」としている。当該エリアの現場状況について以下に示す。

当該エリアの配置断面図を図 1 に、また、当該エリア及び当該エリアの隣接エリア平面図、写真撮影場所及び写真撮影方向を図 2 に示す。

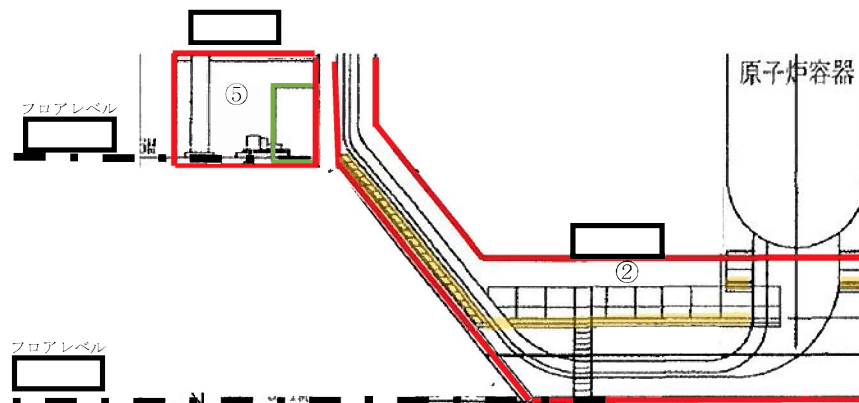


図 1 配置断面

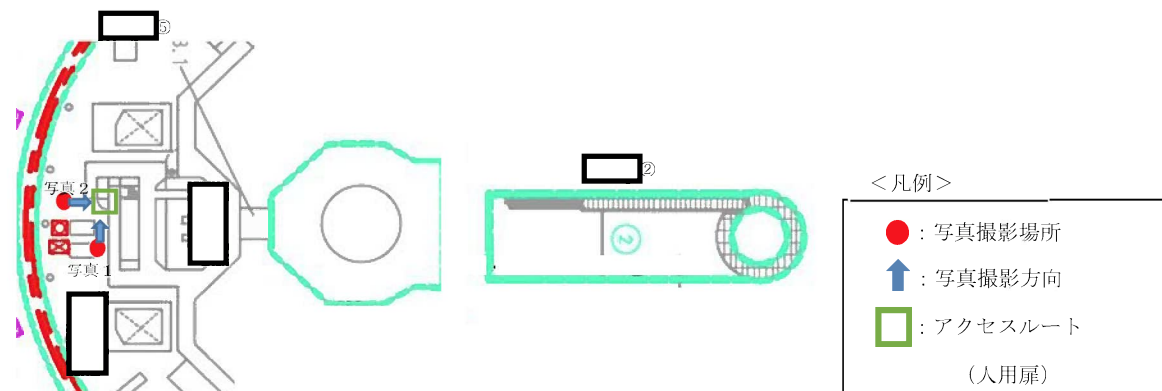


図 2 () ⑤、() ②平面図

1. () の感知区画②のアクセスルートについて
 () の感知区画②のアクセスルートは、隣接エリアの () の感知区画⑤の人用扉から入室するが、プラント運転中及びシングルチューブ引抜き時は高放射線エリアとなっており、当該部屋への立ち入りは困難な状況となっている。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



写真1

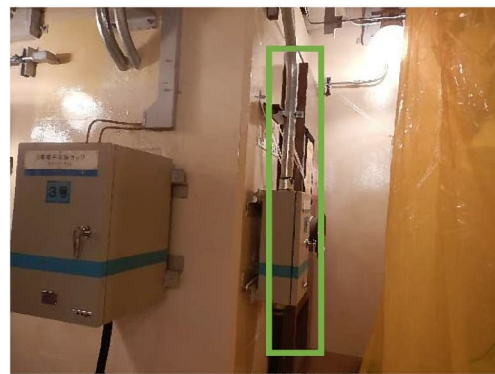


写真2

2. の感知区画②内の機器について
 の感知区画②には、炉内計測用のシンプルチューブが金属製の配管内に布設されている。

以上

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。